



町長回誌 No.99

町長日誌の第99号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

11月18日(金) AM9:30

16日早朝から降り出した初雪は、結構な量となり朝5時から除雪車が初出動しました。昨年は10月26日の夜に雨からみぞれに変わりましたが雪らしい雪が降りしたのは、今年と一日違いで11月15日でした。因みに一昨年は11月11日と最近は大体この時期に初雪が降るようです。農家の外での作業もほぼ終わり、皆さんのご家庭の菜園の収穫も終わりましたが、今年の成果は如何だったのでしょうか？ 我が家では、大根の出来が今一つでしたが白菜は良い出来でした。昨夜テレビを見ていましたら、例年11月は鍋物の食材として白菜の需要が高まる時期なのですが暖かさのため一向に売れず、また豊作も重なって価格は出始めの7分の1にまで下がり、農家は「収穫する手間賃も出ない」と嘆いていました。一方、九州では反対に11月は気温の低下と共に需要が落ちるはずのトマトの引き合いが多く高値が続いているとの事です。また、私たちの住むオホーツク海沿岸部では、ホタテの価格も高く、サケが量的にはやや少ないものの高値、イカは昨年以上に豊漁で今後も漁は続きそうで、史上最高の水揚げになりそうです。しかし、ここでも太平洋側や日本海側の漁獲量が振るわないことが高値に繋がっていて、イカの名産地である函館近海のイカ漁が全く振るわず、四十数年ぶりにイカ釣りの大型船団がオホーツク海に姿を現し、しばらくの間、漁を行いました。さて、野田総理はこの13日にAPEC(エイペック)首脳会議でTPP(環太平洋貿易協定)に参加するのかもしれないのか？ よく分からない表明をしました。特に農業や漁業への影響が大きいと言われていますが、この様に、日本国内あるいは道内においても、同じ農業・漁業と言えどもライバル関係になってしまい、場合によっては経営の存続にも影響が出るぐらい産地間の競争は激しいのです。そしてこの競争に負ければ、農家や漁業者だけの問題でなく関連する多くの中小企業や職場を抱える町の存続にも大きく影響することなのであります。

11月6日(日)~12(土)

1週間の日程で網走市長を団長として有喜オホーツク総合振興局長と町長、議長ら総勢10名で中国北京市・瀋陽市・上海市を回り行政・議会・観光や産業関係の視察と交流を行ってまいりました。8月には、放射能の風評被害を払しょくするためのPRに香港・台湾に行ってきましたので今年2回目の中国となりました。今回は、オホーツク圏活性化期成会(管内18市町村で構成)の事業としてこれから世界経済の中心となる中国と私たちオホーツク地域がどのような形でつながりを持てばよいのかを探る視察でありました。元々、会長である網走市さんが長年瀋陽市(旧奉天)と交流されていまして、このつながりを中心に観光や一次産業の状況を見てまいりました。瀋陽市は人口600万人の急成長している都市で市内では3300ヶ所の工事現場があり無数のタワークレーンが高層ビルを建設していました。現在、中国政府は北京・瀋陽などの「環渤海経済圏」上海などの「長江デルタ経済圏」広東省の「珠江デルタ経済圏」重慶や四川省で重工業を中心とした「西三角経済圏」の4経済圏に重点的に予算と外資を投入させ急速な発展をしています。ちょうど日本で言えば中京工業地帯、京浜工業地帯などの様な方式だと思います。極端な貧富の差や日本と異なる商習慣などこれから貿易をはじめ交流するためには様々な課題がありますが、すでに水産加工では大連市でサケの加工が行われ、ホタテの干貝柱やナマコは香港へと流通していますし、観光地として北海道は中国ではブランド化しています。今後私たちがお付き合いしなければなくなる中国をはじめアジア地域には共産圏も多く政治主導・トップダウンの場合も多いため、北海道レベルでの戦略を早く持たなければならないと思いました。

さて、日本式のことを中国では「日式」と書きます。日式焼肉・日式ラーメンなどです。夜、大きな円卓で歓迎の宴が開かれたのですが、ここで大変なのが乾杯です。日本の様に宴会の始めと終わりだけの乾杯ではないのです。中国の方一人一人が立ち上がって挨拶をしては乾杯をします。2時間の宴会で20回ぐらい行います。しかも、このお酒が52度あるマオタイ酒で、乾杯するときはグラスの酒を一息に飲み干して相手に「空になりましたよ、あなたのお気持ちをすべて受け止めました。」と言う具合に行うのが中国式乾杯なのです。ところが勢い良く飲めば飲んで「お前はいい奴だ！ もう一杯」となるのです。何にしても外交は体力勝負なのだ実感しました。

雪が降ったり雨に変わったりと、一番車の運転や道路を歩くのに危険な時期です。どうかブラックアイスバーンには十分注意され師走をお過ごしください。また、最近、薪を焚いている方も増えていますので火の用心もお忘れなく。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。